



共済と保険

一九八一年一〇月号 目次

卷頭言・大蔵“所有”の保険行政

(八)

交差点

- | | |
|---------------|-------|
| 共済理論の新たな展開を願う | 滝田 隆夫 |
| 農村生きがい運動の提唱 | 石川 勝己 |
| 小さいことはいいことか | 前田 関男 |

57年度日本保険学会大会における 報告要旨

(一七)

〔リポート〕

保険学会大会に出席して

福室泰三 (三〇)

〔寄稿〕

HELP—老齢自家所有者のニーズから—

ヤンピン・チエン

森宮 康(訳) (三九)



69

〔資料〕

「義理加入」二九・六%の意味するもの

荒井秀雄 (三四)

時言月評・共済規制と共済事業理論／これからの生保經營 (五〇)

〔探訪記〕

精神病院の革命・三枚橋病院 新実京子... (四三)

上鳥羽だより(10)

老人保健法と医療のあり方 五木田和次郎... (五九)

論調・婦人労働に理解と協力の手を

老人保健法の成立について

本 社会保障の課題と財政・年金の選び方..... (六六)

グラフ・年金・年金・保険..... (六四)

ことば・中国の年金とインフレ

望展 農協共済・I C I Fで全共連落合常務が論文発表

保険界・簡保の財形郵便年金

編集後記 (七七)